



2018年2月改訂

ユニセフ・ラブウォーク 実施手引き



健康づくりと国際協力



日本ユニセフ・ラブウォーク協議会

〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 公益財団法人日本ユニセフ協会内
TEL 03-5789-2012 FAX 03-5789-2032 Email event-dr@unicef.or.jp

ユニセフ・ラブウォーク

～健康の喜びを世界の子どもたちとわかつちあう～

ユニセフ・ラブウォーク、この「健康づくりのためのウォーキング」と世界の子どもたちの福祉に役立てる「募金」を結びつけたユニークな活動は1965年イギリスで生まれ、欧米諸国では気軽に出来るユニセフ支援活動として盛んに行われています。

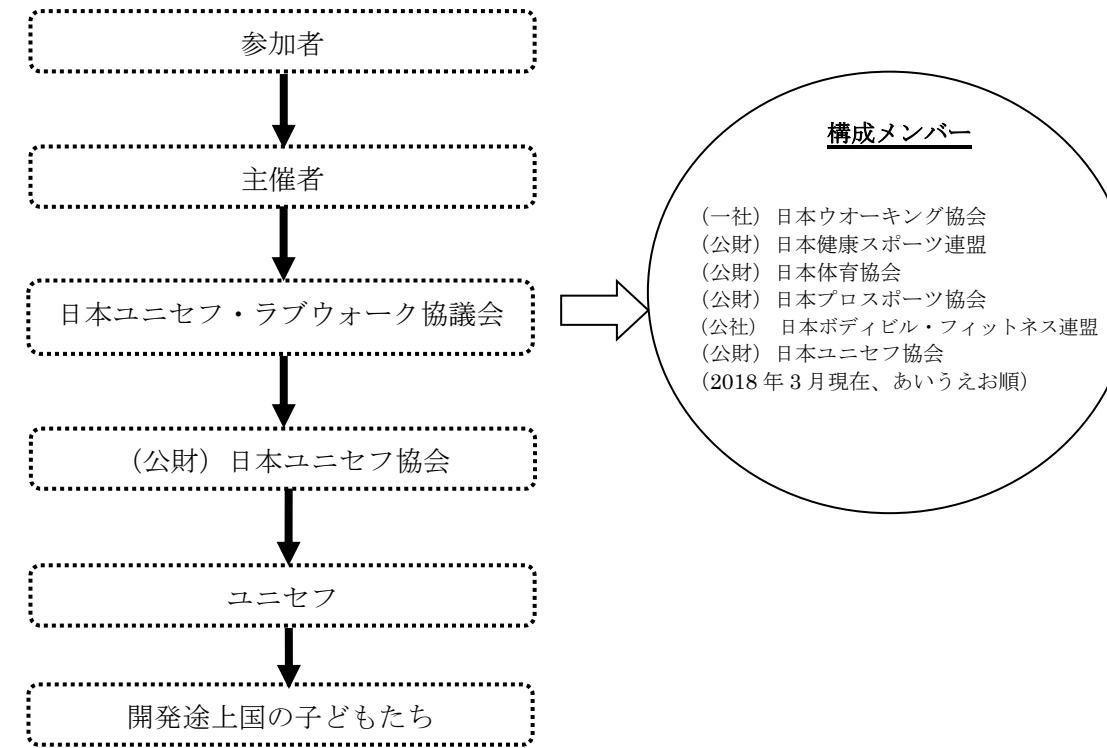
ユニセフ（国連児童基金）は第二次世界大戦後、戦争に被災した子どもたちを救済するため創されました。日本の子どもたちも1949年から1964年まで、脱脂粉乳や衣料の支援を受けました。現在は世界中の子どもたちの諸権利が守られるよう、各国政府、NGO、そして地域社会の人々と協力し、支援事業を展開しています。

ユニセフの活動資金の三分の二は各国政府の拠出金でまかなわれていますが、残りの三分の一は民間（個人、団体、企業など）から寄せられた募金です。ラブウォークは民間で行われるユニセフの募金活動の一形態です。いつでも、どこでも創意や工夫次第で楽しく出来る参加型、イベント型の募金活動です。

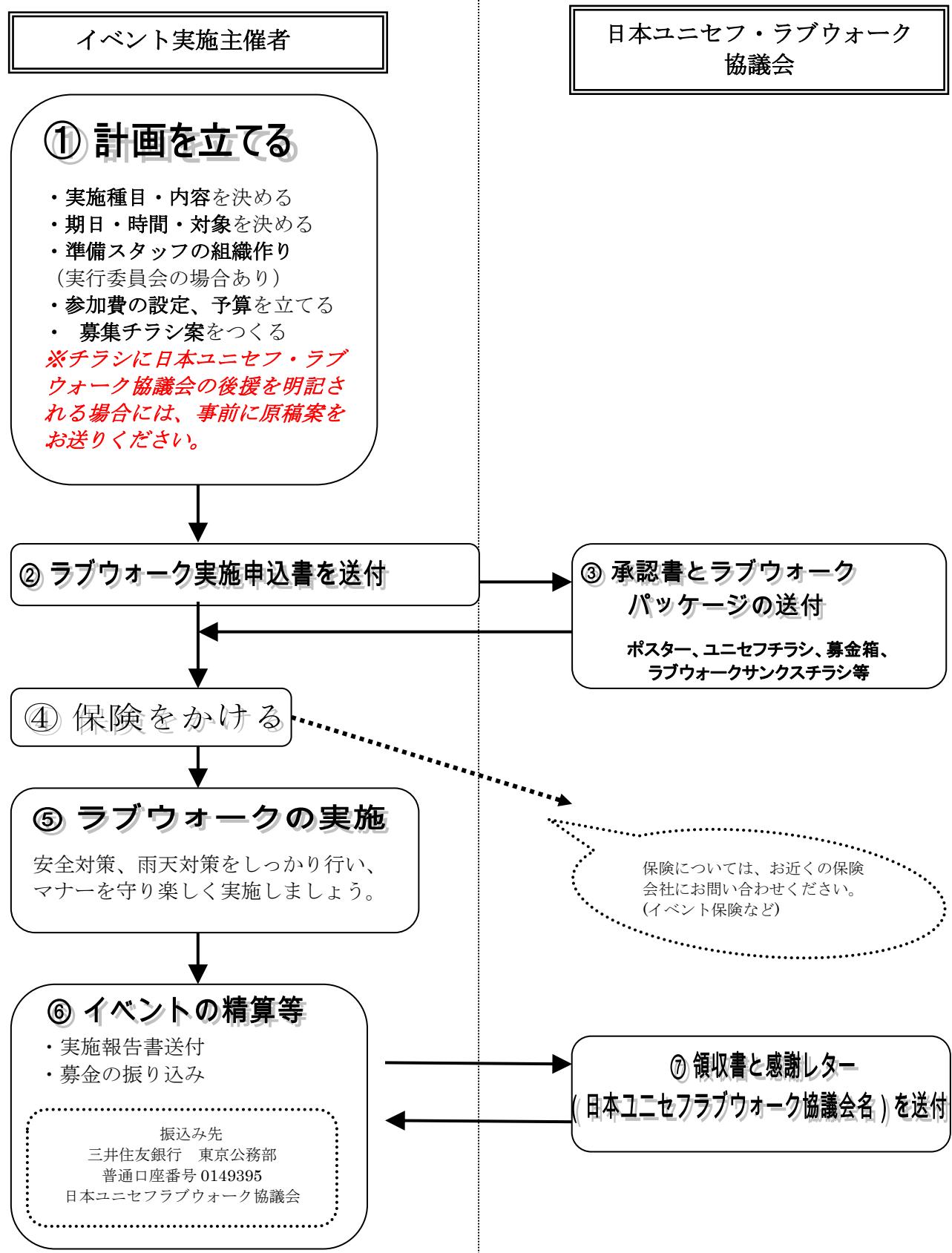
日本ではユニセフ・ラブウォークは日本ラブウォーク協議会（現日本ユニセフ・ラブウォーク協議会）の発足に伴い1983年に始まりました。近年のスポーツ、健康運動の多様化により、ウォーキングだけではなく健康な汗をかく様々なスポーツ、有酸素運動等もラブウォーク運動の一端と捉える様になりました。スポーツジムでも、競技場でも、或いは野山でも、それがウォーキングでなくとも『ラブウォーク』イベントを実施できます。

色々なアイデアがあると思います。楽しく、安全なイベントを企画し実施して下さい。それが、世界の子どもたちの励ましにもなるでしょう。

ユニセフ・ラブウォークの募金の流れ



ラブウォーク実施手順



『ラブウォーク』イベントを計画しよう

【例え...

『ラブウォーク』はウォーキングだけではなく、
健康のための様々な運動のイベントでも実施できます。

ハイキングや山歩き等の行事に『ラブウォーク』の名称をつけて実施してみましょう。

- 1) 研修会や会議の時間の一部でウォーキングを実施して『ラブウォーク』
- 2) 学校や町内会の運動会、文化祭や夏祭りのプログラムの1つとしてウォーキングを実施。
- 3) 水中ウォーキング、サイクリング、エアロビクスダンスなどの健康のための有酸素運動に限り実施。



©日本エアロビックフィットネス協会



©日本ユニセフ協会/2017

《注意事項》

注1：イベント名について

- ・特定の企業名・団体名はつけることはできません。
- ・イベント名には必ず「ユニセフ」「ラブウォーク」の名称は使用してください。
* ウォーキング以外で実施する場合には、ラブの後を種目名に変更することができます。 例えば、ユニセフ希望が丘ラブスイム

注2：主催者・後援者の表記について

主催を実行委員会で組織する場合は、構成グループや責任者名を表示してください。
日本ユニセフ・ラブウォーク協議会の後援を希望される場合は、実施申込書の該当箇所にその旨をご記入ください。

注3：参加費の表記について

チラシなどに参加費についての表記をする場合には「参加費〇〇〇円には、最低200円以上のユニセフ募金が含まれています。」というように、募金が含まれている旨を明記してください。

【必ず実施前にお送り下さい】

ユニセフ・ラブウォーク

実施申込書

イベント名称			
イベント内容	<input type="checkbox"/> ウォーキング <input type="checkbox"/> その他 (具体的に _____)		
実施日時	年	月	日曜日 _____ : ~ _____ :
実施場所			
予定参加者数・参加費	【参加者数】 _____ 名 【1名あたり参加費】 _____ 円 うち募金額 _____ 円 * 経費の面から、参加者は 20 名以上、1 名につき 200 円以上を募金としてお願い致します。		
主催者	【主催者名】 代表者名 : 印 【主な活動内容】 【ご連絡先】 〒		
ご担当者 (資料送付先・ご連絡先が主催者と異なる場合)	【氏名】 【ご連絡先】 〒 T E L : _____ F A X : _____ E-mail : _____		
後援・協賛 (もしあれば)			
名義使用	日本ユニセフラブウォーク協議会後援名義: <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない ラブウォークロゴマーク使用: <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない *名義を使用される資料(チラシ等)のコピーを添付してください。		
資料請求欄	<input type="checkbox"/> ユニセフチラシ _____ 枚 <input type="checkbox"/> ユニセフポスター _____ 枚 <input type="checkbox"/> ラブウォークサンクスチラシ _____ 枚 <input type="checkbox"/> 募金箱 _____ 個 (*原則 300 名まで 1 箱とさせていただきます) <input type="checkbox"/> その他 *参加人数分を超える資料は送付できない場合がございます。		

【必ず実施後お送り下さい】
*振込金受取書（コピー）も添付してください。

ユニセフ・ラブウォーク イベント実施報告書

年 月 日

イベント名称			
イベント主催者			
報告担当者名			
実施日時			
実施場所			
参加者数			
募 金 額	①参加費の募金額	円	× 人 計 円
	②その他募金額	円	
	募金合計 (①+②)	円	
領収書の送付先		〒	

ラブウォークの実施感想（ご意見やご提案）等をどうぞ。またイベントのチラシや写真なども添付して下さい。お送り頂いた写真や電子画像は（公財）日本ユニセフ協会の媒体に使わせていただくことがあります。御了承下さい。尚、頂いた写真や電子画像は返却致しません。

2018年度「ユニセフ・ラブウォーク」実施テーマ

子どもたちに生きるチャンスを



© UNICEF/UNI178392/Pirozzi

世界では、約6秒にひとりの子どもたちが予防可能な原因で5歳の誕生日を迎える前に命を落としています。先進国に産まれていれば防げたはずの感染症や下痢、栄養不良などで犠牲となる子どもの多くは、途上国の貧しい地域や紛争地帯、劣悪な環境で必死に生きる子どもたちです。ラブウォークの参加費の一部はユニセフが、世界中のすべての子どもたちが等しく守られるように、予防接種の普及、安全な水や衛生的な環境の確保、母乳育児の推進、栄養改善など総合的な支援活動を支える資金となります。

- **500円のご支援で・・・**
4~5リットルの水を浄化できる 浄水剤 1240錠
 - **1000円のご支援で・・・**
下痢による脱水症から子どもの命を守る 経口補水塩 153袋
 - **5000円のご支援で・・・**
栄養不良の子どもを救う 栄養治療食 148袋

(2018年の情報をもとに作成 1ドル=112円として計算)

*ご寄附の金額は任意です。

*輸送や配布のためのコストは含まれておりません。



【お問合せ・申し込み先】

〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12

公益財団法人日本ユニセフ協会内

日本ユニセフ・ラブウォーク協議会事務局

TEL 03-5789-2012 FAX 03-5789-2032

Email アドレス event-dr@unicef.or.jp